環境にやさしい農業への取組について

国は、環境と調和した農林水産業を進めるための指針として「みどりの食料システム戦略」を掲げました。これは、将来にわたって食料を安定的に供給するために、持続可能な食料システムを構築していくものであります。

農業は食料供給だけでなく、国土保全や環境保全、生態系保全などの多面的な機能を有しており、それらの発揮に向けて環境にやさしい農業を進めていく必要があります。

また、出雲市は令和９年度初夏にトキの放鳥を行うこととなり、環境にやさしい農業の広がりは、トキの生息環境整備につながるだけでなく、トキをシンボルとするブランド化戦略（まちづくり）においても、重要な取組であると考えています。

本市における環境にやさしい農業の取組について、試験・研究を以下のとおり進めていますのでお知らせします。

１．取組について



出雲市環境にやさしい農業研究会※により以下の取組を行っています。

〇普及が可能な有機農業等の環境にやさしい農業技術体系の確立

〇農業所得の向上に向けた販売戦略の検討

〇トキの放鳥に向け餌場確保につながる水田管理体系の検討

※出雲市環境にやさしい農業研究会構成員：農業者、島根県、出雲市、ＪＡしまね出雲地区本部・斐川地区本部

２．具体的な取組状況



出雲市版　有機水稲栽培マニュアル

⑴ 普及できる有機等の栽培モデルの実証・確立

〇市内２か所（稗原地区、斐川南部地区）のほ場で令和６年から有機 JAS 基準での水稲栽培の実証試験を実施

〇出雲市版有機水稲栽培マニュアルと栽培暦を策定、配布・公表

⑵ トキの生息環境に資する水田管理の検討

⑶ 栽培に見合う販売戦略

〇トキを絡めた認証制度によるブランド化

〇実証ほ場で収穫したお米を使った試験販売



実証ほ場で収穫したお米を使った「出雲のお米」※キューブ型

令和７年産は市内５店舗で販売

⑷ 普及啓発活動

啓発看板設置、PR シール作成、イベント開催　など



⑸ 農業者等への情報発信の検討　など

今後も環境にやさしい農業の普及に向けた取組を進めていきます。

トキの放鳥に向けて、農薬の使用規制などをすべての農家にお願いするものではありません。協力いただける農家や地域において、できることからご協力をお願いしていきます。



ミコトッキー

（出雲市トキキャラクター）